

「腎臓病の食事療法を継続サポート」

管理栄養士: 杉浦

【基本情報・意向・希望】

慢性腎臓病、60代女性の方。腎機能が急激に悪くなり、自身で食事を用意するのがしんどいのと、何を食ったらよいかを考えるのが大変。でも透析は回避したい意向がありました。

【栄養アセスメント・目標】

面談時は身長150cm、体重41kg、BUN(尿素窒素)28、Cr1.27。体調が悪くなるまでは自炊もされていたことから、配食で味付けや調理の工夫を知ってもらい自宅でも腎臓食を用意できるようになるのが目標です。

食事計算へのストレスが大きいので、摂取目安量の簡易な表を渡し参考して頂くことを提案しました。

【経過・結果】

サポートスタートから5か月後、Drから腎機能はまずまずの維持だが、カロリーUP・たんぱく質量UPし様子を見るようにと言われ、摂取エネルギーを200kcalUPしました。その結果、期間中に減少した体重も39kgまで回復しました。リン・カリウムも徐々にではあるが上昇がみられるため2日に1回のヨーグルト・ドライフルーツを一旦ストップし次回の採血結果にて食事内容再評価を行うことにしました。まだまだ改善がみられるまでには時間がかかりそうですが、引き続き食事療法実践中です。

「おやつ記録」

管理栄養士: 大都

【基本情報・意向・希望】

吹田市在住の糖尿病のTさま。ヘルパーのお仕事をされながらご両親の介護をされています。ヘルパーさんのお仕事なので日中、利用者様宅から利用者様宅へは自転車移動、お掃除や入浴介助など身体はしっかり動かされています。日々のお食事、配食の味付けや量を目安に、自宅で調理。お昼も手作りお弁当持参。お弁当の良いところはおかずもご飯も量が守れるところです。

【栄養アセスメント・目標】

そんなTさまの課題は間食です。HbA1cは出会った当初は6.8程度。お仕事が忙しくなると日中の間食は減るのですが、その分、帰宅後の夕食前や夕食後のお菓子が増える。指摘すると一旦は間食が減り、HbA1cも改善。一歩進んで一、二歩下がる…という状況を繰り返していたのですが、いよいよ最近HbA1cが8に届くところまで上昇。ここで「おやつ記録」をつけることを提案。手帳に食べたお菓子類を記録してもらうことに。自分の中でよくできたと思う日には「よくできました☆」という判子やシールをつけて見た目にも「やる気」を維持できる工夫を伝授。

【経過・結果】

HbA1cが8から7.4に改善。なかなか減らなかった体重も63kgが61.9kgに☆

「記録つけるのが楽しくなりました♪職場のみんなからも身体の動きが早くなったね、と言われるようになったの♪」と嬉しい報告も。それから一ヶ月後、7.0まで改善しました。

「食事療養のある生活」をもっと身近に!

株式会社はーと&はあとライフサポート



はーと通信 Vol.6

発行人 株式会社はーと&はあとライフサポート
〒601-8141 京都市南区上鳥羽卯ノ花46
TEL.075-681-8101(代表) FAX.075-681-8102

恭しく新春のお慶びを申し上げます。旧年中は格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。本年も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

今回は、当社の管理栄養士による配食利用者様への食事療養サポート例として、実際の症例を紹介させていただきます。

走れ!
=3=3=3
管理栄養士's
The症例報告



「低栄養の改善」

管理栄養士: 竹輪

【基本情報・意向・希望】

小規模多機能ホームに入所されている要介護度V・94歳・男性。12月末に肺炎のためご入院し、退院時にターミナルケアを希望されていました。退院後の食事においてエネーボ(300kcal・たんぱく質13.5g)が2缶処方されていたので、残りの700kcal・たんぱく質27gの摂取の仕方について介入をさせていただきました。

【栄養アセスメント・目標】

退院時の指示内容は、1300kcal・たんぱく質55g。退院のアセスメントではMNA5点(①体重減少②急性疾患③歩行状態④脛脛周囲長の4項目で減点有)と低栄養の評価でした。1日3食喫食頂きしっかりと指示内容に充足するように、また本人様の嗜好に添い好きな味の食事ができるようにと、TaBeLu+倶楽部の商品からモデル献立をたてました。

【経過・結果】

喫食状況確認しながら2度3度とモデル献立変更し、利用開始から9か月たった今では、処方されていたエネーボもなくなり体重は退院時よりも+10kg! MNAの評価も11点(①歩行状態②BMIの2項目で減点有)とあがり、一度も再入院などもなく元気に過ごされています! 担当のケアマネジャーさんからも「退院時ターミナルケアだったのに、今でも元気に過ごされていて、竹輪さんに介入してもらったおかげです。」ととても嬉しいお言葉を頂きました。

「覚醒したらすぐゼリー」

管理栄養士: 山本

【基本情報・意向・希望】

施設で過ごされている、女性の方。160cm 49kg BMI19 脳血管障害により半身麻痺、認知症有、覚醒状態も日や時間にムラがあるとのこと。家族様や施設の方は、摂取エネルギー量を増やしたい、食べる楽しみを持たせたい・褥瘡を治したいというご希望がありました。今のお食事状況を伺うと、お食事時間に覚醒状態が合えば食べられるが、寝てしまわれていたりタイミングが合わない、お食事がなかなか進まない状態でした。

【栄養アセスメント・目標】

高カロリーゼリーを取り入れることをご提案いたしました。お食事は今施設でご用意されているものを継続していただき、プラスして、覚醒状態の時に「小さなハイカロリーゼリー」や「たんぱくゼリーセブン」を食べていただくことで、エネルギーとたんぱく質を補給するという計画です。

目を覚まされているタイミング、少し何か食べられそうだなというタイミングで、こういった手軽にエネルギーとたんぱく質をたっぷり含む食品を食べることで摂取エネルギーを増やすことができます。

【経過・結果】

目を覚まされているタイミング、少し何か食べられそうだなというタイミングで、こういった手軽にエネルギーとたんぱく質をたっぷり含む食品を食べることで摂取エネルギーを増やすことに取り組んでいただいています。

年頭決意表明



去年は公私とも、「動くと裏目に出る」一年でした(><)。今年は運が向くよう、いつも笑顔でいることを心掛けていきます。(いつも眉間に皺を寄せている印象があるので…)「笑う門には福来る」です!(^^)
常務取締役・在宅食生活サポート事業部 部長 植田 孝久

ルールは変えていくもの。百聞は一見にしかず、百見は一考にしかず、百考は一行にしかず、百行は一果にしかず!をモットーに、より成果にコミットできる価値を出していきます。
管理栄養士・在宅食生活サポート事業部 副部長 島田 天心



今年も一期一会を大切に、自分の持つ「ひきだし」を最大限引き出して「出会って良かった」と言ってもらえる管理栄養士でありたいと思います。
管理栄養士・北摂担当 大都 宏子



企業理念を心に、生活に寄り添ったアドバイスが出来る様日々役に立つ・面白い引き出しを増やしていきます。
管理栄養士・北摂担当 杉浦 和希



お客様との出会いを大切に、お客様の視点で考えお客様が満足して頂くよう努力致してゆきます。
北摂配送リーダー 吉見 松遠



日々、お食事とともに真心をお届けするのが私ども配送員の力! 気持ち新たに、この1年、惜しみなくその力を発揮出来るよう精進します。
物流センター長 白坂 達也



地域担当として3年目を迎えます!今年も初心を忘れずに、皆様の「食事療法」に様々な提案が出来るように精進してまいります。
管理栄養士・京都担当 竹輪 美里



地域担当となって1年経ちました。今年は学会などにも参加し、利用者様のサポートに活かせるように管理栄養士としてのスキルアップを図ります!気軽に相談していただけるよう、笑顔で頑張ります。
管理栄養士・京都担当 山本 博子



地域の栄養の相談の窓口として、は一と&はあとの管理栄養士にお気軽にご相談ください。

フリーコールTEL.0120-876-810

株式会社は一と&はあとライフサポート

本社 〒601-8141 京都市南区上鳥羽卯ノ花46

TEL.075-681-8101(代表) FAX.075-681-8102

北摂オフィス 〒567-0875 大阪府茨木市若草町5番31号

TEL.072-645-8101 FAX.072-645-8107



Heart & Heart

